

## 週報

## 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月 ~6日	5月 ~13日	5月 ~20日	5月 ~27日	6月 ~3日	6月 ~10日	6月 ~17日	6月 ~24日	7月 ~1日	7月 ~8日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	37	39	48	105	12	31	19	13	24	13	17	17	16 (17)	24
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	66	51	44	98	7	30	21	20	20	17	26	20	14 (16)	27
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	3	1	1	5	0	2	1	0	3	6	2	9	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	14	11	7	24	4	2	0	4	2	4	1	3	0	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	12	11	13	12	1	5	3	3	4	3	6	4	2	1
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	7	5	3	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	2	11	18	50	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	13	13	17	4	0	3	0	1	0	1	0	1	1	0

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

### 広島県感染症発生動向週報

平成30年第27週(7月2日~7月8日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5		3	1		1		
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	5	E型肝炎	1					1		
		つつが虫病	1		1					
		日本紅斑熱	2							2
		レジオネラ症	1		1					
五類全数	8	アメーバ赤痢	1	1						
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1							1
		梅毒	5					3	2	
		百日咳	1		1					

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島市、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第27週 7/2~7/8)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 手足口病

定点当たり3.88人の報告があり、多い状況が続いています。

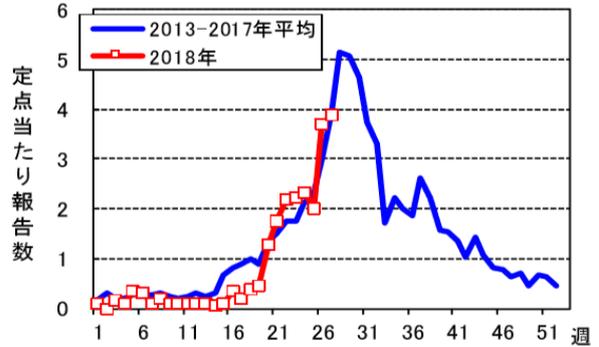
手足口病の感染経路は、飛沫感染、接触感染、便の中に排泄されたウイルスによる経口感染が知られています。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育園や幼稚園などでは、注意が必要です。

感染予防対策として、手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理すること、タオルの共有を避けることなどが大切です。

2. 梅毒

3件の報告があり、今年の累計は59件となりました。

手足口病の流行状況



【参考】厚生労働省「手足口病に関するQ&A」  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/hfmd.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	0.01		小児科	流行性耳下腺炎	6	0.25	0.79	
小児科	咽頭結膜熱	17	0.71	0.87	↔	小児科	RSウイルス感染症	18	0.75	0.14	↔
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	2.54	2.28	↗		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05
	感染性胃腸炎	81	3.38	5.55	↘	眼科	流行性角結膜炎	12	1.50	0.95	
	水痘	7	0.29	0.63		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.11	
	手足口病	93	3.88	3.94	↔		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	2	0.08	0.35			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.12	
	突発性発しん	7	0.29	0.58			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	43	1.79	1.73	↔		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	72	男性(40歳代)
4	E型肝炎	1	1	男性(70歳代)
5	梅毒	3	59	女性(20歳代)、男性(30歳代)、女性(40歳代)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	発熱(38.8)	0	男	2018/05/26	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型
流行性角結膜炎	角結膜炎 結膜充血	37	女	2018/05/14	結膜擦過物	アデノウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.3) 上気道炎 鼻炎	0	男	2018/05/18	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 細気管支炎	1	男	2018/05/23	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 肺炎	0	女	2018/05/28	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型 ヒトホカウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎	2	男	2018/05/29	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 咽頭炎 肺炎 鼻炎	1	女	2018/05/29	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型 <i>Streptococcus pneumoniae</i>

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載